

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和5年1月23日(2023.1.23)

【公開番号】特開2021-125210(P2021-125210A)

【公開日】令和3年8月30日(2021.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2021-040

【出願番号】特願2020-140108(P2020-140108)

【国際特許分類】

G 06 N 20/20(2019.01)

10

G 06 N 5/04(2023.01)

【F I】

G 06 N 20/20

G 06 N 5/04

【手続補正書】

【提出日】令和5年1月13日(2023.1.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のアルゴリズムを用いて、所定の問題について設定された第1損失関数の値を小さくするように所定の学習モデルの機械学習をそれぞれ行う学習部と、

前記機械学習に基づき、前記第1損失関数の大域的形状を表す第1形状情報と、前記学習モデルの性能とを、アルゴリズムごとに算出する算出部と、

前記複数のアルゴリズムのうち少なくともいずれかを用いて、新たな問題について設定された第2損失関数の値を小さくするような機械学習が前記学習部により実行され、前記算出部により算出された前記第2損失関数の大域的形状を表す第2形状情報を取得する取得部と、

前記第1形状情報及び前記学習モデルの性能を学習データとする教師あり学習によって前記第2形状情報に基づいて、前記第2損失関数の値を小さくするように前記学習モデルの機械学習を実行した場合の前記学習モデルの性能を、前記複数のアルゴリズムそれについて予測する予測モデルを生成する生成部と、

を備える情報処理装置。

【請求項2】

情報処理装置に備えられたプロセッサによって、

複数のアルゴリズムを用いて、所定の問題について設定された第1損失関数の値を小さくするように所定の学習モデルの機械学習をそれぞれ行うことと、

前記機械学習に基づき、前記第1損失関数の大域的形状を表す第1形状情報と、前記学習モデルの性能とを、アルゴリズムごとに算出することと、

前記複数のアルゴリズムのうち少なくともいずれかを用いて、新たな問題について設定された第2損失関数の値を小さくするような機械学習が実行され、前記第2損失関数の大域的形状を表す第2形状情報を取得することと、

前記第1形状情報及び前記学習モデルの性能を学習データとする教師あり学習によって前記第2形状情報に基づいて、前記第2損失関数の値を小さくするように前記学習モデルの機械学習を実行した場合の前記学習モデルの性能を、前記複数のアルゴリズムそれについて予測する予測モデルを生成することと、

40

30

50

を実行する情報処理方法。

**【請求項 3】**

情報処理装置に備えられたプロセッサに、

複数のアルゴリズムを用いて、所定の問題について設定された第1損失関数の値を小さくするように所定の学習モデルの機械学習をそれぞれ行うことと、

前記機械学習に基づき、前記第1損失関数の大域的形状を表す第1形状情報と、前記学習モデルの性能とを、アルゴリズムごとに算出することと、

前記複数のアルゴリズムのうち少なくともいずれかを用いて、新たな問題について設定された第2損失関数の値を小さくするような機械学習が実行され、前記第2損失関数の大域的形状を表す第2形状情報を取得することと、

前記第1形状情報及び前記学習モデルの性能を学習データとする教師あり学習によって前記第2形状情報に基づいて、前記第2損失関数の値を小さくするように前記学習モデルの機械学習を実行した場合の前記学習モデルの性能を、前記複数のアルゴリズムそれについて予測する予測モデルを生成することと、  
を実行させるプログラム。

10

20

30

40

50